

新報国マテリアルが中期目標策定

新規開拓推進、29年売上高100億円へ

新報国マテリアル（本社・埼玉県川越市、社長・成瀬正氏）は9日、創立80周年を迎える2029年に向けた6カ年の中期目標を発表した。「インバー合金グローバルニッチトップ」戦略を通じて半導体・FPD市場成長の捕捉や航空・宇宙・環境分野などの新規開拓を推進し、29年12月

期（単独）に売上高100億円、経常利益15億円の達成を目指す。鑄造・3D・鍛造の3本柱を確立し、それぞれで創造的研究開発・革新的製造技術・積極的販売戦略を推進する。6年間の設備投資計画は20億円で、過去6年間より倍増する。戦略・開発投資で3D積層造形装置、高精

度熱膨張計、合理化投資で砂型3Dプリンタ、溶解・造型・溶接工程省力自動化、基盤強化でX線透過装置などを計画する。研究開発では世界初となるインバー特性の原理機構の解明も進める。

同社の中期計画策定は17～19年以来。市場の将来動向で不確実性が高いため「中期目標」とした。全社で議論を重ねて策定しており、今後の方向性を社内でも共有し社外に明示する。

